

沖縄修学旅行（2年生）

2月4日(水)～6日(金)、2泊3日の日程で2年生が沖縄へ修学旅行に行ってきました。関西空港では初めて飛行機に乗る生徒も多く、落ち着かない様子です。飛行機が空港を飛び立った時は小さな歓声も聞こえました。沖縄では小雨まじりの曇り空でしたが、旅行団が那覇空港へ到着すると雨もおさまり一安心です。ひめゆり平和祈念資料館を見学した後、沖縄平和祈念公園（平和の礎）で献花式を行いました。2日目の午前は、シーカヤック班と洞窟探検班に分かれての体験学習です。沖縄のきれいな海をすべるように進むシーカヤック、暖かい気候の中で景色を楽しみながらカヤックを漕ぐイメージをしていた生徒も多いと思いますが、沖縄とは思えない寒さで震えながらカヤックに乗り込みます。しかし、若いエネルギーでその寒さも吹き飛ばし楽しむことができたようです。一方、洞窟探検班は、「ヌチシヌジガマ」に入っていきます。沖縄方言の「命しぬじ(ヌチシヌジ)」は「命をしのいだ」という意味で、戦争中にこのガマ（洞窟）で亡くなった人はなく、300名の住人を救ったという歴史のあるガマです。懐中電灯を片手に、川の中を歩き、岩をよじのぼり、天井の低い場所を屈んで歩き、最後に幻想的な鍾乳洞にたどり着きます。鍾乳洞の話や言い伝え、ガマの歴史などガイドさんから聞きながら、約200mの探検を終えました。午後からは、「沖縄の海との出会い」をコンセプトにした美ら海水族館の見学です。大水槽で回遊する大きなジンベエザメやナンヨウマンタは圧巻です。人気のイルカショーも見ることができました。3日目は、「道の駅かでな」の展望台から隣接する嘉手納空軍基地を見学しました。嘉手納空軍基地には4000メートル級の滑走路が2本あり、広さは東京ドーム420個分と日本最大級の規模を誇る米軍基地です。その大きさに驚くとともに基地問題を抱える沖縄の現実を感じることができました。続いて琉球王国の王城であった首里城を訪れました。首里城は中国の紫禁城をモデルにしたといわれ、中国や日本の建築様式が組み込まれた独自の造形美を持っています。中国と日本に大きな影響を受けた沖縄独自の歴史と文化の象徴です。その後、沖縄最大の繁華街である国際通りで、家族や友人へのおみやげを買い、全員無事に帰ってきました。



校内マラソン大会

2月13日(金)に校内マラソン大会を開催しました。風が強く、時々雪が舞い散る中、5kmの距離を走りまわります。生徒は寒さを吹き飛ばすように颯爽と走り抜け、全員完走することができました。入賞者は次の通りです。



- | | |
|-------------|-------------|
| 1位 2B 竹中亚沙美 | 6位 1C 唐津麻生来 |
| 2位 1B 阪本阿里 | 7位 2B 根来優利 |
| 3位 1A 加藤彩華 | 8位 2B 田代清日 |
| 4位 1A 宮脇那奈 | 9位 2B 武内美里 |
| 5位 1C 伊藤桂 | 10位 2A 辻本美咲 |

プルタブ回収 ～学校家庭クラブ～

学校家庭クラブが中心となって呼びかけたプルタブ回収。集まりました。2月12日(木)、学校家庭クラブの代表生徒が海南市の社会福祉協議会を訪れ、集めたプルタブを寄付しました。プルタブは「車イス」購入の資金の一部として有効に活用されます。学校家庭クラブでは引き続きプルタブ回収運動を行っていく予定です。皆さん、ご協力をお願いします。



3月の主な行事予定

- 2日(水) 卒業式
- 4日(水) 学年末考査終了
- 24日(火) 3学期終業式

